

科目名	共通基本技術Ⅱ (フィジカルアセスメント)	対象学年・時期	1年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・30時間
授業概要	ヘルスアセスメントとは、人々の健康状態を総合的に査定することであり、フィジカルアセスメントは、健康状態を査定するために行う身体の診察・評価である。看護師には対象を正しく「診る」ことが重要であり、身体内部でおきている状況を把握するために問診、視診、触診、聴診、打診など診断的手法を習得する必要がある。また、中でも体温、呼吸、脈拍、血圧、意識状態といった「生きている」ことをアセスメントすることは健康をアセスメントする際の基盤となるため重要である。療養の場が多様化し、看護師の役割が拡大している中で看護師の観察して気づく力や自主的な援助・支援が今後より一層求められる。 よって、ここでは解剖生理学の知識を活用し、対象の健康状態を評価する意義と身体情報を正しく捉え、正常、異常を判断していく技術を習得すると共にアセスメントする力を養う。		
授業形態	講義・学内実習		
学習目標	1. ヘルスアセスメントの概要がわかる。 2. フィジカルアセスメントの基本がわかる。 3. バイタルサインを正確に測定できる。 4. 身体計測を正しくできる。 5. 身体機能別にフィジカルアセスメントの方法がわかる。		
授業計画	1回目 ガイダンス ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント 2回目 バイタルサインとは 3回目 バイタルサイン測定 学内実習（体温、脈拍、呼吸） 事後学修：体温、脈拍、呼吸測定の練習 4回目 バイタルサイン測定 学内実習（血圧） 事後学修：血圧測定の練習 5. 6回目 バイタルサイン測定 学内実習（一連の動作） 事後学修：バイタルサイン測定の練習 ※技術チェック、技術テストあり 7回目 意識状態のアセスメント 瞳孔の見方 8回目 身体計測 9. 10回目 呼吸器系のアセスメント 事後学修：呼吸器系の聴診の練習 11. 12回目 循環器系のアセスメント 事後学修：循環器系の聴診の練習 13回目 腹部のアセスメント 事後学修：腹部の触診、聴診の練習 14回目 まとめの学内実習（シミュレーターを用いて観察を行う） 15回目 終講試験		
使用テキスト	・系統看護学講座専門分野 基礎看護学2 「基礎看護技術Ⅰ」第19版 茂野香おる著 医学書院 ・写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス 新訂版 守田美奈子監修 インターメディカ		
事前・事後学修	内容については「授業計画」を参考にしてください。		

	学内実習前には、事前にテキストの該当部分や動画を見て練習をしてから授業に臨んでください。 学内実習後には、行った技術の練習を行ってください。
評価基準および評価方法	終講試験 90% バイタルサイン測定技術試験 10%
備考	